MASPRO

CATV

CATV 屋外(内)用 VHFブースター

取扱説明書

VHF BOOSTERS

伝送周波数帯域

90～108MHz　170～222MHz

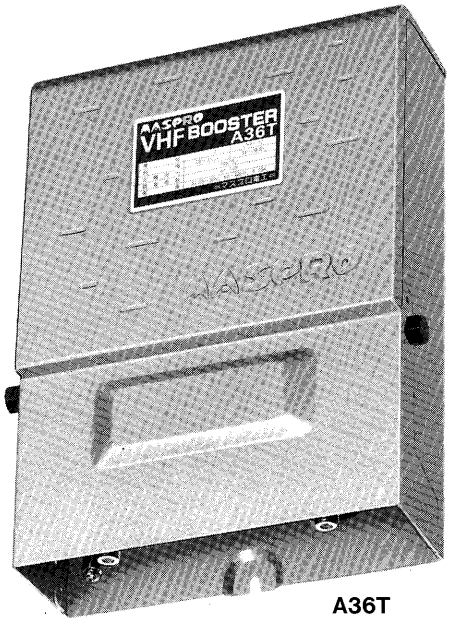
A36

AC100V方式

A36T

低電圧（AC20～30V）方式

36dB型



A36T

ビル・アパートなどの共同受信用高利得
高出力ブースターです。

A36Tの適合電源部

型　　式	A36T使用台数
WP5　（屋内用）	1台
WP2410A（屋外・内用）	
WP10　（屋内用）	2台の縦続接続
WP3015A（屋外・内用）	

MASTER OF PRODUCTION 生産の調整

高性能，高信頼

定格出力105dBμ――電波の比較的強い地域のホーム共同受信用としても使用できます。

利得調整回路――PINダイオードによる利得調整回路ですから，⊖20～⊕40℃の温度変化に対して，利得変動がほとんどなく，常に安定した動作をします。

オートスイッチング回路（実用新案登録No.1213286）――**A36T**は入力端子・出力端子のどちらからでも給電できます。しかも，その切り換えは「オートスイッチング回路」によって，自動的に行なわれます。

定電圧回路――**A36T**は供給電圧がAC20～30Vの間で変化しても，特性の変動はありません。

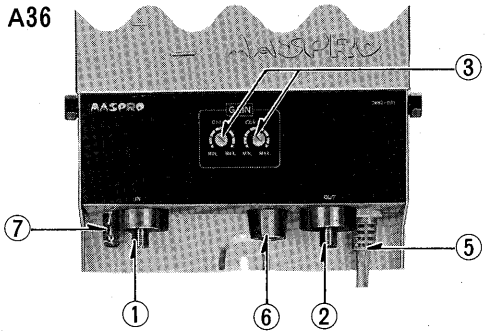
●ご使用の前に，この「取扱説明書」と「安全上のご注意」をよくお読みください。
●お読みになったあとは，いつでも見られるところに保存してください。

親切・技術の
MASPRO
＝マスプロ電工＝

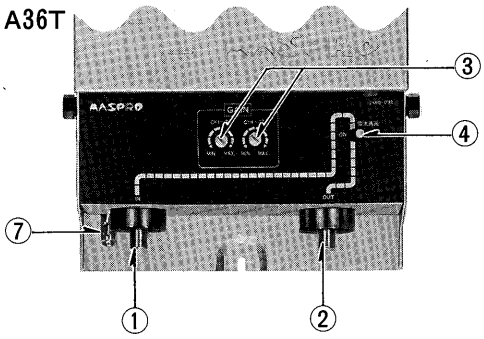
MAY, 1995

各部の名称と機能

A36



A36T



①入力端子
アンテナ，または，前段のブースターからのケーブルを接続してください。

②出力端子

③利得調整ツマミ（⊖10dB連続可変）
出力レベルを調整して，後段に接続されたブースター，または，テレビの入力レベルが最適値に調整できます。

④電流通過スイッチ（A36T）

スイッチ切換方向	動　作　状　態
ON ◯ ←	IN→OUTまたはOUT→INに電流が通過します。
◯ OFF →	INまたはOUTのどちらからでも受電できます。 電流は通過しません。

電流通過スイッチがOFFの状態の場合は，マスプロ独自のオートスイッチング回路が受電方向を自動的に選択します。

⑤AC100V電源コード（約1m）（A36）
コードを延長するために，途中で切断して別のコードをつなぐことは，電気設備技術基準で禁じられています。

⑥ヒューズホルダー（ミゼット管型ヒューズ定格0.5A）（A36）
定格値を超えたヒューズは絶対に使用しないでください。

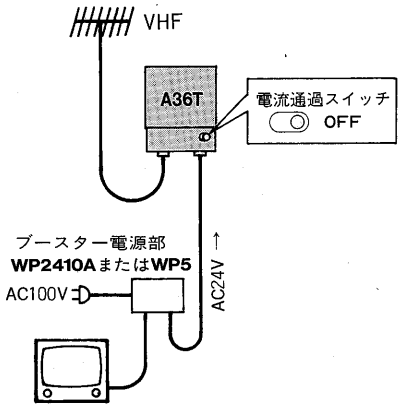
⑦アース端子

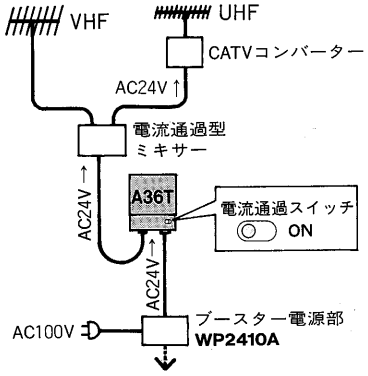
電流通過スイッチの操作方法

AC100V方式の**A36**は，出力端子からの電源の供給はできません。

1台の場合

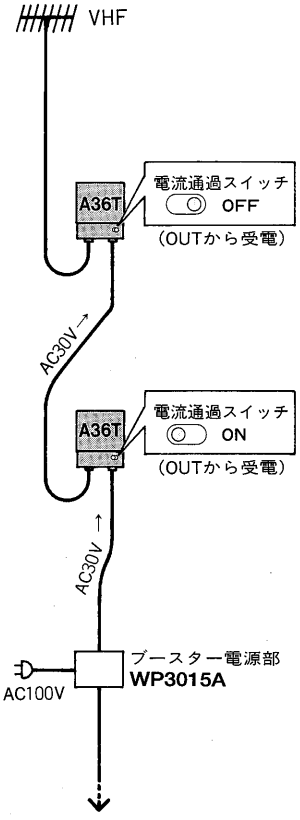
電源部は**WP2410A**（別売）または**WP5**（別売）を使用してください。

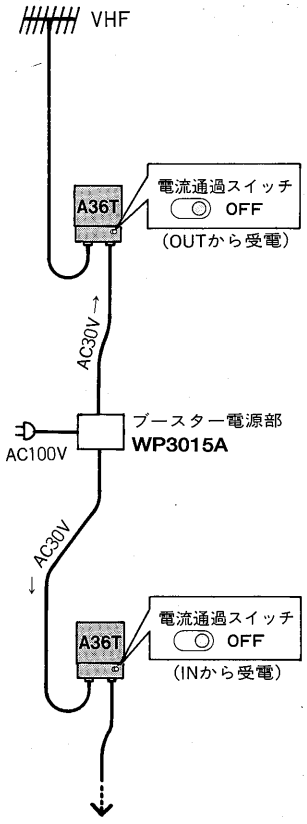




2台の縦続接続の場合

電源部は**WP3015A**（別売）を使用してください。





電源部については，それぞれの取扱説明書をご覧ください。

実用入力レベルについて

２台を縦続して使用する場合は，一層の安定性を確保するため，右表の範囲で使用してください。

ブースター使用台数	最小入力～最大入力レベル
１台	45～70dBμ
２台の縦続接続	48～67dBμ

最小入力レベル以下で使用した場合

スノーノイズ(画面に雪が降るような症状)が目立つようになり，鮮明な画像が得られません。

最大入力レベル以上で使用した場合

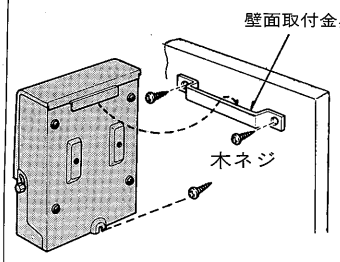
相互変調によるビート縞，混変調によるワイパー現象(画面を横に拭いていくような，太い帯模様)が発生し，見苦しい画像となります。

取付方法

⚠注意

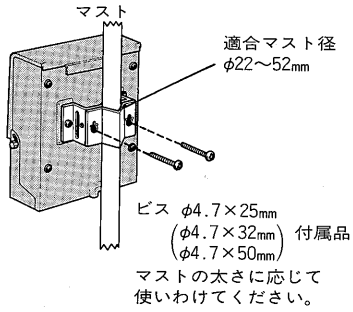
A36はマスト・支持柱には取付けられません。
電源コードに直接水がかからない場所で使用してください。

板壁面の場合



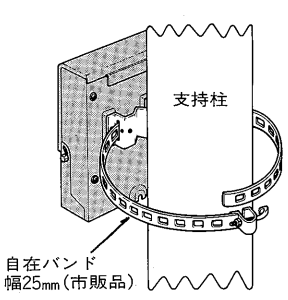
マストの場合

A36Tのみ



支持柱の場合

A36Tのみ

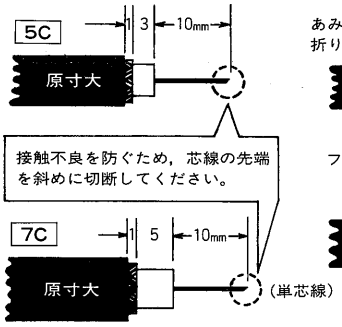


F型コネクター(プラグFP5)の取付方法

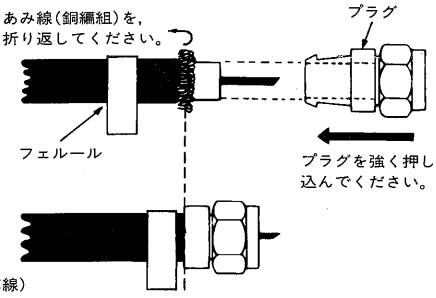
●接触不良や，ショートを防ぐため，プラグはていねいに取り付けてください。

●加工する前に，必ず防水キャップに通してください。 ●**FP7**(別売)は7C用です。

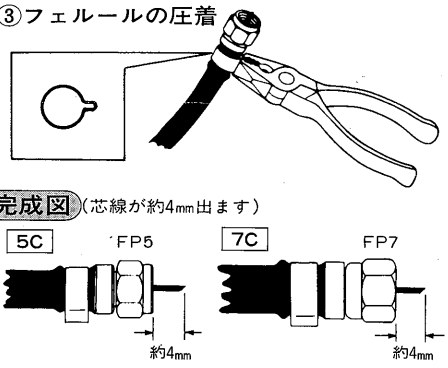
①ケーブルの加工



②プラグの取り付け



③フェルールの圧着



正しく使用していただくために

よい画質が得られないときは，次のチェックをしてください。

画像が出ない場合，または，著しくスノーノイズが出る場合

1. 電源 ――― 規定の電圧(**A36**はAC100V，**A36T**はAC20～30V)が供給されていますか。
2. 入・出力端子 ――― 入力と出力の引込線が逆に接続してありませんか。
3. 電流通過スイッチ ――― 正しく操作してありますか。(**A36T**)
4. 利得調整ツマミ ――― 利得が最大(右)へいっぱい回した状態)になっていますか。
5. 引込線 ――― 断線，または，ショートしていませんか。
6. 入力レベルの測定 ――― 実用入力レベルの範囲になっていますか。ブースターの入力端子からケーブルを外して，電界強度測定器で測定してください。レベルが低い場合は，アンテナの高さや設置場所を変えたり，高利得なアンテナに取り替えて，レベルを確保してください。

画面にビート縞，ワイパー現象が出る場合

1. 利得調整ツマミ ――― 症状が消えるまで，ツマミを(左)へ静かに回してください。
2. アンテナの方向 ――― 不要電波による混信がありませんか。方向を変えて画像が一番良好になるように調整してください。
3. 入力レベルの測定 ――― 実用入力レベルの範囲になっていますか。レベルが高い場合は，入力端子にアッテネーター(**ATT3・6・10・15・20fD**別売)を使用して，最大入力レベル以下になるようにしてください。

以上の方法でも，トラブルが解決できない場合は，お近くの支店・営業所か，本社技術相談にお問い合わせください。

規格表 Specifications

A36・A36T共通

項目 Items ＼ 伝送周波数帯域 Frequency Range	90～108MHz (ch1～3)	170～222MHz (ch4～12)
利得 Gain	28～33dB	33～38dB
利得偏差 (P/V) Gain Response Flatness	3dB以内	
利得調整範囲 Gain Control Range	⊖10dB (連続可変)	⊖10dB (連続可変)
雑音指数 Noise Figure	4～7dB	
実用入力レベル Operating Input Level	45～70dBμ (※ 80dBμ)	
定格出力レベル Rated Output Level	105dBμ	
混変調／相互変調 Cross Modulation / Intermodulation	⊖46dB以下／⊖55dB以下	
ハム変調 Hum Modulation	⊖50dB以下	
VSWR	1.2～2.5	
入力インピーダンス Input Impedance	75Ω (F型コネクター)	
出力インピーダンス Output Impedance	75Ω (F型コネクター)	
電源 Power Requirements	A36 定格電圧AC100V 50・60Hz 定格消費電力5.6W A36T AC20～30V 50・60Hz 0.35A	
使用温度範囲 Temperature Range	⊖20～⊕40℃ (連続100時間，恒温槽テストによる)	
外観寸法 Dimensions	211(H)×170(W)×62(D)mm	
質量 (重量) Weight	A36 ----約1.6kg A36T ----約1.5kg	
シンボル Symbol		
その他 Notes	避雷回路内蔵，定電圧回路内蔵 (A36T)	

※利得を最小にした時の最大実用入力レベルです。

マスプロの規格表に絶対うそはありません。
ご理解と信頼あるデータにご期待ください。

付属品

- F型コネクター(プラグFP5) ---------- 2個
- 壁面取付金具 ---------- 1個
- 予備ヒューズ (定格0.5A) (A36) ---------- 1本
- ビス (φ4.7×32mm，中径マスト用) (A36T) ---- 2本
- ビス (φ4.7×50mm，太径マスト用) (A36T) ---- 2本
- 木ネジ(予備1本含む) ---------- 4本
- 防水キャップ ---------- 2個

製品向上のため 仕様・外観は変更することがあります。

マルチメディア CATVの
＝マスプロ電工＝

本社 470-01 愛知県日進市浅田町
営業部 TEL名古屋(052) 802－2244
工事営業部 TEL名古屋(052) 802－2225
技術相談 TEL名古屋(052) 805－3366

支店・営業所

沖縄	(098) 854-2768	熊本	(096) 381-7626
鹿児島	(0992) 26-9200	長崎	(0958) 46-6872
宮崎	(0985) 25-3877	福岡(支)	(092) 531-3861
		北九州	(093) 941-4026
下関	(0832) 55-1130	津	(0592) 34-0261
徳山	(0834) 32-2954	岐阜	(058) 274-5315
広島	(082) 230-2351	名古屋(支)	(052) 802-2233
松江	(0852) 21-5341	工事営業	(052) 804-6262
岡山	(086) 252-5800	豊橋	(0532) 33-1500
松山	(0899) 73-5656	静岡	(054) 283-2220
高知	(0888) 82-0991	松本	(0263) 57-4625
高松	(0878) 65-3666		
姫路	(0792) 34-6669		
神戸	(078) 843-3200		
大阪(支)	(06) 632-8811	福井	(0776) 23-8153
工事営業	(06) 632-1144	金沢	(0762) 49-5301
京都	(075) 341-0595	新潟	(025) 287-3155
和歌山	(0734) 73-8867		
横浜	(045) 784-1422	郡山	(0249) 52-0095
渋谷(支)	(03) 3409-5505	仙台	(022) 237-4521
工事営業	(03) 3499-5631	盛岡	(0196) 41-1681
秋葉原	(03) 3255-7335	秋田	(0188) 62-7523
葛飾	(03) 5660-4488	青森	(0177) 42-4227
八王子	(0426) 37-1699		
千葉	(043) 232-5335	函館	(0138) 53-7355
大宮	(048) 663-8000	札幌	(011) 782-0711
前橋	(0272) 63-3767	釧路	(0154) 23-8466
水戸	(029) 248-3870	旭川	(0166) 25-3111
宇都宮	(0286) 60-5008	北見	(0157) 61-0480

MASter of PROduction
生産の覇者
2K54-190
B-55-3190-3L